

教科	科目	単位数
理科	科学と人間生活	2
<b>【指導目標】</b> ・自然と人間生活との関わり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 ・科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。 ・身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活との関わりについて認識を深めさせる。 ・自然と人間生活との関わり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活との関わり方について考察させる。		
<b>【知識・技能】</b> 科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につける。		
<b>【思考力・判断力・表現力】</b> 身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。		
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。		
スクーリング	6時間(前期3時間, 後期3時間)	4時間以上要出席(メディアによる減免4時間)
レポート	年間6枚(前期3枚, 後期3枚提出)	全て提出
試験	2回実施する(前期末, 後期末)	評定2以上で単位認定
ビデオ教材	第一学習社及び本校で作成	メディア視聴による減免を実施
評価	試験80%, レポート20%で評価する	
教科書	高等学校 科学と人間生活(第一学習社)	
学習書	なし	
副教材	なし	

回	単元	教科書のページ	ビデオ No	レポート番号	スクーリング
1	序章 科学技術の発展 第Ⅰ章 物質の科学 第1節 材料とその利用 *メディア視聴 *視聴確認テスト	前見返し~11 16~41	1~10	第一回 5/15	①5/28 ②8/5 ③8/6  前期試験
2	第Ⅰ章 物質の科学 第2節 衣料と食品 *メディア視聴 *視聴確認テスト	42~65	11~20	第二回 6/12	
3	第Ⅱ章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象 *メディア視聴 *視聴確認テスト	66~89	20~29	第三回 7/10	

4	第Ⅱ章 生命の科学 第2節 微生物とその利用 *メディア視聴 *視聴確認テスト	90~109	30~38	第四回 10/2	④10/29 ⑤1/18 ⑥1/21 後期試験
5	第Ⅲ章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用 第2節 光の性質とその利用 *メディア視聴 *視聴確認テスト	110~145	39~52	第五回 10/30	
6	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 第1節 自然景観と自然災害 第2節 太陽と地球 第Ⅴ章 これからの科学と人間生活 *メディア視聴 *視聴確認テスト	146~199	53~68	第六回 11/27	

教科	科目	単位数
理科	生物基礎	2
<b>【指導目標】</b> ・生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。		
<b>【知識・技能】</b> 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。		
<b>【思考力・判断力・表現力】</b> 問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得するとともに、報告書などを作成したり、発表を行う。		
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。		
スクーリング	6時間(前期3時間, 後期3時間)	4時間以上要出席(メディアによる減免4時間)
レポート	年間6枚(前期3枚, 後期3枚提出)	全て提出
試験	2回実施する(前期末, 後期末)	評定2以上で単位認定
ビデオ教材	第一学習社及び本校で作成	メディア視聴による減免を実施
評価	試験80%, レポート20%で評価する	
教科書	高等学校 新生物基礎(第一学習社)	
学習書	なし	
副教材	なし	

回	単元	教科書のページ	ビデオ No	レポート番号	スクーリング
1	第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性 第2節 生物とエネルギー *メディア視聴 *視聴確認テスト	18~45	38~44	第一回 5/15	前期試験
2	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報とタンパク質の合成 *メディア視聴 *視聴確認テスト	48~73	45~52	第二回 6/12	
3	第3章 ヒトのからだの調節 第1節 からだの調節と情報の伝達 *メディア視聴 *視聴確認テスト	76~95	53~60	第三回 7/10	
4	第3章 ヒトのからだの調節 第2節 免疫 *メディア視聴 *視聴確認テスト	96~113	61~66	第四回 10/2	
5	第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移 *メディア視聴 *視聴確認テスト	116~141	67~73	第五回 10/30	
					④10/30 ⑤1/18 ⑥1/22 後期試験

6	第4章 生物の多様性と生態系 第2節 生態系とその保全 *メディア視聴 *視聴確認テスト	144~171	74~81	第六回 11/27	
---	---	---------	-------	--------------	--

教科	科目	単位数
理科	地学基礎	2
【指導目標】 ・日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。		
【知識・技能】 科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につける。		
【思考力・判断力・表現力】 身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。 そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。		
【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。		
スクーリング	4時間(前期2時間, 後期2時間)	4時間以上要出席(メディアによる減免4時間)
レポート	年間6枚(前期3枚, 後期3枚提出)	全て提出
試験	2回実施する(前期末, 後期末)	評定2以上で単位認定
ビデオ教材	第一学習社及び本校で作成	メディア視聴による減免を実施
評価	試験80%, レポート20%で評価する	
教科書	高等学校 地学基礎(第一学習社)	
学習書	なし	
副教材	なし	

回	単元	教科書のページ	ビデオ No	レポート番号	スクーリング
1	第1章 地球のすがた *メディア視聴 *視聴確認テスト	6~33	1~9	第一回 5/15	①5/28 ②8/6  前期試験
2	第2章 地球の活動 *メディア視聴 *視聴確認テスト	36~69	10~18	第二回 6/12	
3	第3章 大気と海洋 *メディア視聴 *視聴確認テスト	72~105	19~30	第三回 7/10	
4	第4章 宇宙と地球 *メディア視聴 *視聴確認テスト	108~139	31~39	第四回 10/2	③10/29 ④1/21  後期試験
5	第5章 生物の変遷と地球環境 *メディア視聴 *視聴確認テスト	142~175	40~50	第五回 10/30	
6	第6章 地球の環境 *メディア視聴 *視聴確認テスト	178~207	51~59	第六回 11/27	